

欧州における重量貨物車に対する 道路利用課金(ユーロビニエツト指令) に関する最新動向

2011年3月

(財)土地総合研究所 研究部長 昆 信明

ユーロビニエツト指令とは

- 重量貨物車に対する道路利用課金について、加盟国間で共通のルールを定めるもの

背景

- ・ 持続可能な交通体系を目指した、モード全体にわたるインフラ利用に係る負担の適正化。
→外部費用の内部化、汚染者負担の原則
- ・ 特に、ドイツ、オランダなど、従来、高速道路を含めて道路を無料で整備してきた国において、通過交通に対しても応分の負担を求める意向。

EU指令としての特徴

- ・ 指令の実施には、加盟国の国内法による手当てが必要。
- ・ 課金することを加盟国に義務付けるものではないが、課金する場合には指令が定めるルールに従う必要。
- ・ EU域内の広域的幹線道路(TEN-T等)での課金が対象。(都市部での混雑課金(ロンドンなど)は加盟国の権限)

主な経緯

1995年	EU緑書『公正で効率的な交通課金に向けて』公表。
1995年	オランダ、ベルギー、ルクセンブルグ、スウェーデン、デンマーク、ドイツが、高速道路等において、重量貨物車(12t以上)に対するビニエツ(ステッカー)方式による期間(日、週、月又は年)に応じた課金を導入(ユーロビニエツ)。
1998年	EU白書『インフラ利用に関する公正な支払』公表。
1999年	ユーロビニエツ指令制定(指令1999/62/EC)。
2001年	スイス(EU非加盟国)が、全道路において、重量貨物車(3.5t超)に対する走行距離及び重量に応じた課金(HVF)を導入。
2004年	オーストリアが、高速道路等において、重量車(3.5t超。貨物及び旅客。)に対する走行距離に応じた課金(LKW-Maut)を導入(DSRC方式)。
2005年	ドイツが、高速道路(アウトバーン)において、重量貨物車(12t以上)に対する走行距離に応じた課金(LKW-Maut)を導入(GPS方式)。2007年、連邦道路の一部にも拡大。
2006年	ユーロビニエツ指令改正(指令2006/38/EC)。 [現行指令]
2008年	欧州委員会がユーロビニエツ指令の改正案を公表。経済危機により採択延期。
2010年	閣僚理事会において、2008年改正案を修正のうえ政治的に合意。

3

現行指令の概要

対象車両

- ・ 車両総重量3.5t超の重量貨物車。
1999年指令 12t以上→2006年指令 3.5t超
(ただし、2012年までは12t以上のみを対象とすることも可能。)

対象道路

- ・ 欧州横断交通ネットワーク(TEN-T)を構成する広域幹線道路。
(課金による交通転換が発生する可能性がある2次的ネットワークにおける課金も可能。)

課金の定義

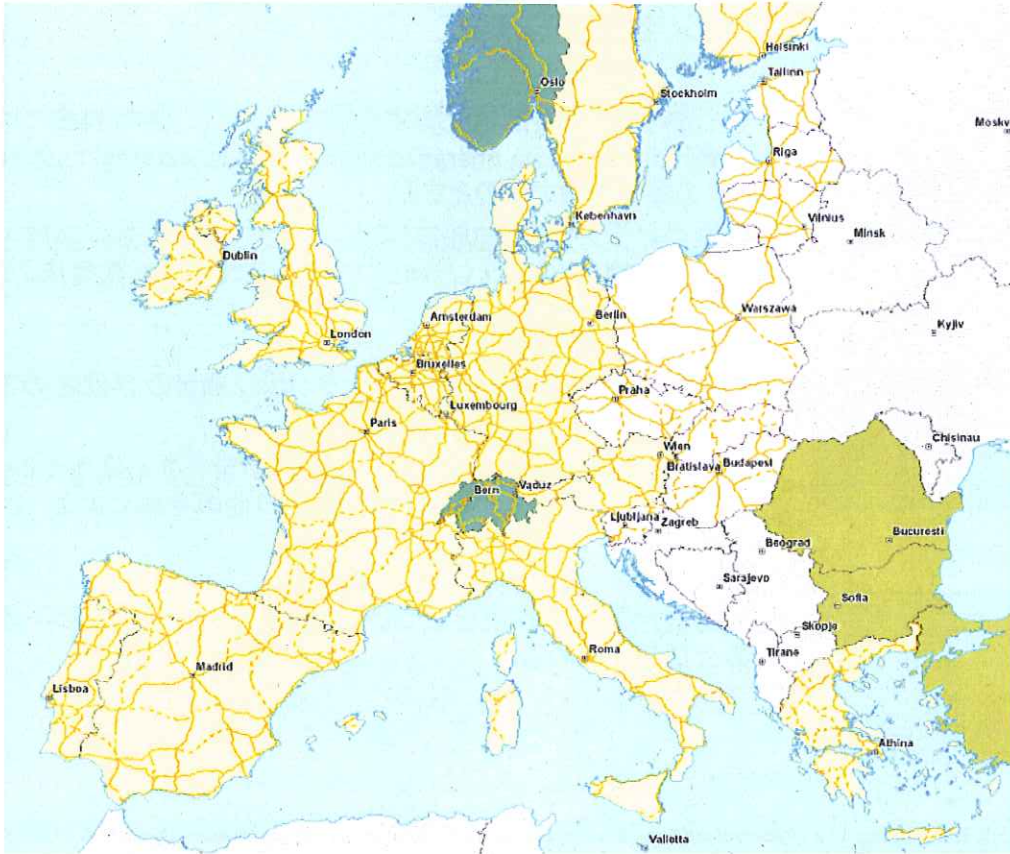
- ・ 通行料金(toll)：走行距離に応じた課金(対距離課金、有料高速道路) コンセッションの対象となっている既存の有料高速道路については、既存のコンセッションの枠組みを尊重。
- ・ 利用者課金(user charge)：期間に応じた課金(ビニエツ方式)

課金の水準

- ・ 通行料金(toll)：料金全体の水準(加重平均料金)は、インフラ費用の回収原則に基づくことが必要。インフラ費用回収原則の範囲内で、大気汚染防止、混雑緩和のために料金を変化させることは可能。車両のEURO排出ガス等級に応じた課金区分の導入を義務付け。
- ・ 利用者課金(user charge)：指令別添で期間に応じた上限額を設定。

4

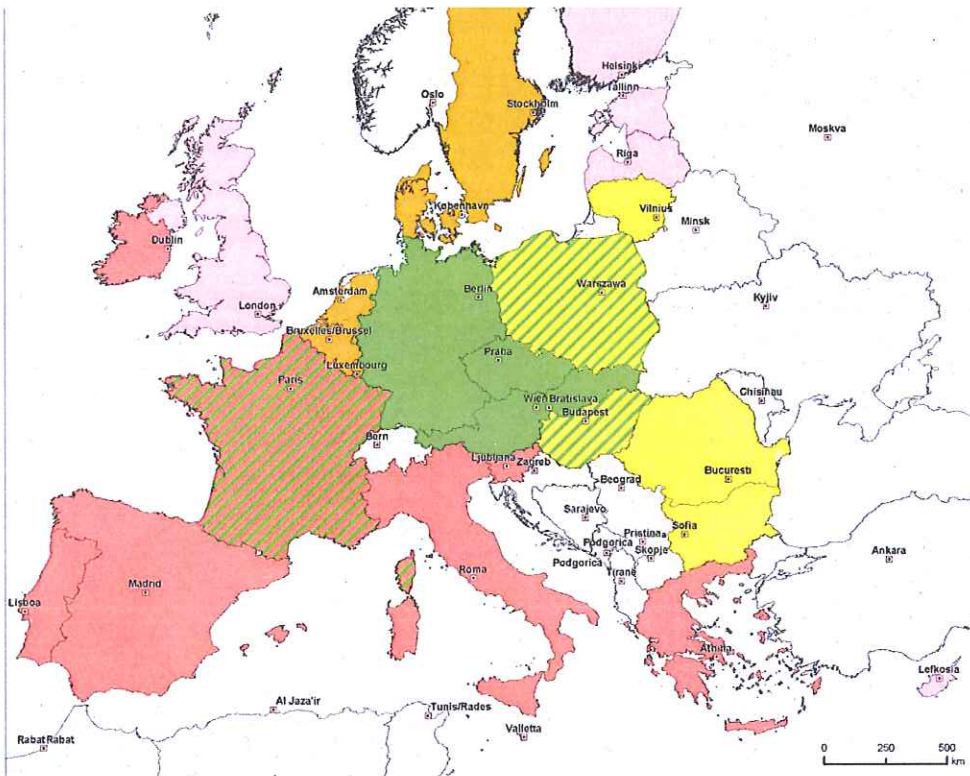
[参考] 欧州横断交通ネットワーク(TEN-T)[道路]



[出典] 欧州委員会 http://ec.europa.eu/ten/transport/maps/doc/schema/road/2004_guidelines_roads_eu_en.pdf

5

各国の状況



<対距離課金方式>

ドイツ、オーストリア、
チェコ、スロバキア、
スイス(EU非加盟)
* 緑斜線は検討中

<ビニエット方式>

[ユーロビニエット]

ベルギー、オランダ、
ルクセンブルグ、デ
ンマーク、スウェー
デン

[単独ビニエット]

ポーランド、ハンガ
リー、ルーマニア、
ブルガリアなど

<有料道路制>

フランス、イタリア、
スペイン、ポルトガ
ル、ギリシアなど

<課金なし>

イギリスなど

[出典] 欧州委員会 Review of the Directive on charging Heavy Goods Vehicles (MEMO/10/489, 13 October 2010)

6

2008年改正案の概要

外部費用課金

- ・ 通行料金 (toll) の定義に関する規定を改正し、通行料金にはインフラ課金 (infrastructure charge) と外部費用課金 (external cost charge) の2つの要素を含むものとする。
- ・ 従来のインフラ費用回収原則は、インフラ課金にのみ適用され、外部課金には適用されない。(インフラ費用とは別に外部費用の回収を認める。)

外部費用項目

- ・ 外部費用課金の対象項目は、大気汚染、騒音及び混雑の3項目に限定。
- ・ 例えば、気候変動については、自動車が行く場所や時間帯との関連性が乏しいことから、燃料税などの他の手段によるべきとされた。

外部費用課金の基準

- ・ 外部費用課金の各項目について、その算定方法、パラメータ、課金の上限値を定める。

[資料] 欧州委員会 Proposal for a Directive of the European Parliament and of the Council amending Directive 1999/62/EC on the charging of heavy goods vehicles for the use of certain infrastructures, COM(2008) 436 final/2, Brussels, 8.8.2008.

7

課金の算定方法

インフラ課金

[現行指令 第2条、別添Ⅲ]

- ・ インフラ費用の項目
投資費用: 建設費(資金調達を含む)、開発費、用地取得費、計画・設計費、請負契約監督費、遺跡調査費、地質調査費
その他関連費用。適切な場合は、資本投資に関する利益を含む。
年間の維持費、構造的修繕費、料金收受の運営費
- ・ 建設費の回収は、インフラの設計寿命、又はコンセッション契約等における資金調達上の理由から適当とみなされる償還期間に基づく。

外部費用課金

[新設]

- ・ 大気汚染費用の場合
$$PCV_{ij} = \sum_k E_{Fik} \times PC_{jk}$$

ここで:

- PCV_{ij} は、車両タイプ*i*の車両の道路類型*j*における大気汚染費用(ユーロ/台km)
- E_{Fik} は、汚染物質*k*の車両タイプ*i*に関する排出係数(g/km)
- PC_{jk} は、汚染物質*k*の道路類型*j*における単価(ユーロ/g)

8

外部費用課金の上限値

単位:ユーロセント/km

大気汚染

[2010年議長国提案]

	都市郊外の道路	他の都市間道路
EURO0	16	12
EURO I	11	8
EURO II	9	7
EURO III	7	6
EURO IV	4	3
EURO V [適用猶予期間あり]	3	2
EURO VI [適用猶予期間あり]	2	1

騒音

[2010年議長国提案]

	昼間	夜間
都市郊外部の道路	1.1	2
その他の都市間道路	0.2	0.3

混雑

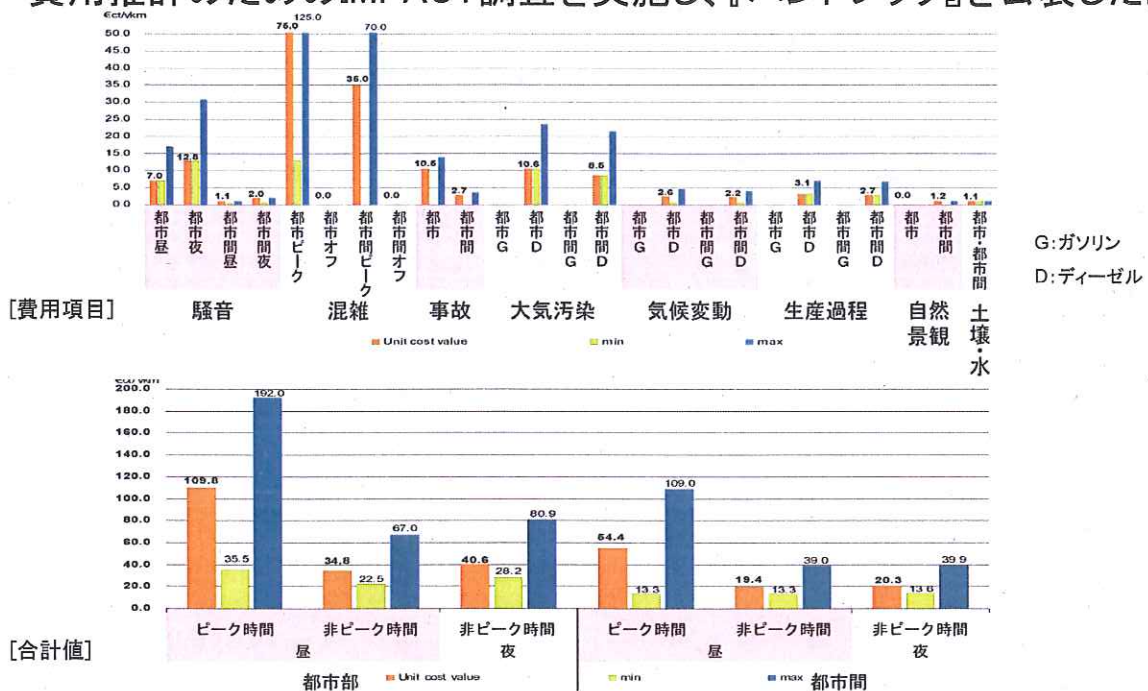
[2008年改正案→削除]

	時間帯A (オフピーク)	時間帯B (ピーク付近)	時間帯C (最ピーク)
都市近郊の道路	0	20	65
他の都市間の道路	0	2	7

9

[参考] IMPACT調査、ハンドブック

- 2006年指令は、欧州委員会に対して、交通に伴う外部費用を評価するためのモデル構築を指示した。これを受けて、欧州委員会は外部費用推計のためのIMPACT調査を実施し、『ハンドブック』を公表した。



2010年修正合意の経緯と概要

- 2009年3月閣僚理事会： 経済危機の影響、外部費用課金に混雑を含めることの異論等から採択が棚上げされた。
- 2010年10月閣僚理事会： 議長国(ベルギー)から修正提案が出され、閣僚理事会でさらに修正のうえ、政治的な合意がなされた。
(今後、正式案文が作成され、閣僚理事会及び欧州議会の審議を経て改正案が制定される予定。2011年2月、第1読会案公表。)

外部費用課金

- ・ 外部費用課金の項目から混雑を除外し、大気汚染及び騒音の2項目に限定した。
- ・ 混雑課金については、インフラ課金の範囲内で料金を変化させることができることとし、インフラ課金の最大割増率は175%、課金可能なピーク時間帯を1日のうち5時間までに限定した。

対象道路

- ・ 欧州横断道路ネットワークに加えて、同ネットワークに含まれない高速道路にも拡大した。

収入の用途

- ・ 2008年改正案では外部費用課金から得られる収入を交通部門に関する支出に充てることを義務化していたが、用途の限定は推奨とした。

11

[参考] 新旧対照表(抜粋)

2006年改正指令 [現行指令] (1999/62/EC, 2006/38/EC)	2010年改正案 (2010.10.06 議長国提案)
<p>第2条 この指令の目的から、 (b) 「通行料金」(toll)とは、インフラにおいて一定の距離を走行する車両が支払うべき、第7条第1項で定めるところによる特定の金額をいう。当該金額は、走行距離及び車両のタイプに基づくものとする。</p> <p>第7条 9. 通行料金は、インフラ費用の回収原則のみに基づくものとする。特に、加重平均通行料金は、関係するインフラ・ネットワークの建設費用並びに運営、維持及び開発費用に関するものとする。加重平均通行料金には、市場条件に基づいた資本利益又は利益マージンを含めることができる。</p> <p>10. (a) 第9項の加重平均通行料金に関する定めを損なわない限りにおいて、加盟国は、例えば、環境上の被害との戦い、混雑への取組み、インフラ損傷の最小化、関係するインフラ利用の最適化又は道路の安全性の促進といった目的のために、通行料金レートを変化させることができる。ただし、そのような料金変化は、次によるものとする。</p> <p>[以下略]</p>	<p>第2条 この指令の目的から、 (b) 「通行料金」(toll)とは、一定のインフラにおける走行距離及び車両のタイプに基づいて車両が支払うべき特定の金額をいい、インフラ課金及び/又は外部費用課金により構成される。</p> <p>(b a a) 「インフラ課金」(infrastructure charge)とは、インフラに関する建設、維持、運営及び開発の費用で加盟国において負担されたものを回収するために徴収される課金をいう。</p> <p>(b b) 「外部費用課金」(external cost charge)とは、交通による大気汚染及び/又は交通による騒音に関する費用で加盟国において負担されたものを回収するために徴収される課金をいう。</p> <p>第7b条 1. インフラ課金は、インフラ費用の回収原則に基づくものとする。加重平均インフラ課金は、関係するインフラ・ネットワークの建設費用並びに運営、維持及び開発費用に関するものとする。加重平均インフラ課金には、市場条件に基づいた資本利益又は利益マージンを含めることができる。</p> <p>第7c条 1. (前略) 外部費用課金は、別添Ⅲaに定める要件及び手法に従って設定及び変化するものとし、別添Ⅲbに定める最高限度を遵守するものとする。</p> <p>第7f条[→2011年2月第1読会案第7g条] 3. インフラ課金は、混雑の緩和、インフラ損傷の最小化、インフラ利用の最適化又は道路の安全性の促進の目的で、以下の条件に基づき、変化させることができる。</p> <p>(c) いかなるインフラ課金も、第7b条に定められた加重平均インフラ課金の最大水準を[300→175]%以上超えないこと。</p> <p>(d) 混雑緩和の目的で高いインフラ課金が徴収されるピーク時間帯は、1日当たり[6→5]時間を超えないこと。</p> <p>[注] []内は、2010年10月15日閣僚理事会合意による修正。</p>

フランスの重量車課金 (éco-taxe)計画

環境グルネル第1法

(LOI n° 2009-967 du 3 août 2009)

建築・都市計画

交通

エネルギー

生物多様性

水、農業

環境衛生・廃棄物

<交通部門での主な施策>

- ・ 2020年までに交通部門での温室効果ガス排出を20%削減。
- ・ 自動車のCO₂排出量の削減。
- ・ 2022年までに道路・航空以外のモード(鉄道、水路、海運)による輸送シェアを現在の14%から25%に引上げ。
- ・ 高速鉄道、高速海路の整備。2020年までに2,000kmの超高速鉄道を整備。
- ・ 都市部における公共交通の整備。
- ・ コンセッション対象外の国道及び一部の地方道において、重量貨物車への課金(éco-taxe)を導入。
- ・ 高速道路料金について、時間帯、エネルギー効率、乗車占有率に応じた可変料金の検討。

13

重量車課金 (éco-taxe)の概要

対象車両

- ・ 車両総重量3.5t超の重量貨物車
(アルザス地域での試行は12tから)

対象道路

- ・ 有料高速道路コンセッションの対象を除いた国道の大部分 約12,000km
- ・ 交通転換を防止するために必要な一部の地方道 約2,000km
- ・ アルザス地域において試行的に先行導入

課金内容

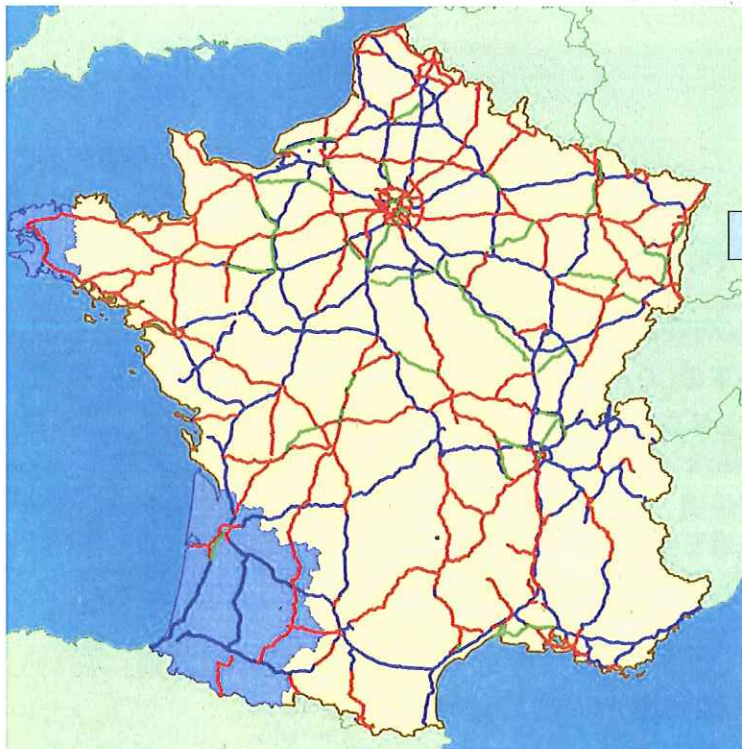
- ・ 対距離課金(DSRC方式又はGPS方式によるフリーフロー課金)
- ・ 車軸数及び車両総重量による車種区分(3区分程度)
- ・ 車両のEURO排出ガス等級による区分
- ・ 混雑による区分の可能性

スケジュール

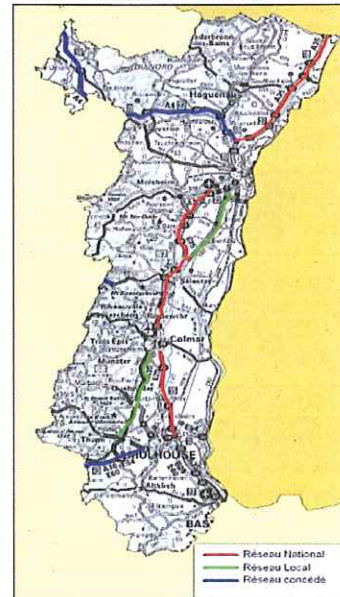
- ・ 2008年10月 環境グルネル第1法案 国民議会(下院)で可決
翌年2月 元老院(上院)で可決
- ・ 2008年12月 2009年予算法
- ・ 2009年 3月 事業者の予備入札募集 8月 入札募集
- ・ 2009年 7月 環境グルネル第1法最終可決(8月公布)
- ・ 2011年 1月 アウトストラデー社(イタリア)を中心とする
コンソーシアムに決定
- ・ 2011-12年 アルザス地域で試行予定

14

重量車課金 (éco-tax) の対象道路



<アルザス地域での試行>



赤線: 対象国道(無料高速道路を含む) 緑線: 対象地方道 青線: 有料高速道路
 青塗り: 割引対象地域

[出典] Ministère de l'Écologie, de l'Énergie, du Développement durable et de l'Aménagement du territoire [2009], Notice de présentation du projet

15

[参考文献]

- [1] 根本敏則・梶原啓[2008], "欧州における対距離課金の模索", 根本敏則・味水佑毅編, 『対距離課金による道路整備』, 勁草書房(日本交通政策研究会研究双書24).
- [2] 1999年指令 EU官報 <http://eur-lex.europa.eu/LexUriServ/LexUriServ.do?uri=OJ:L:1999:187:0042:0050:EN:PDF>
- [3] 2006年改正 EU官報 <http://eur-lex.europa.eu/LexUriServ/LexUriServ.do?uri=OJ:L:2006:157:0008:0023:EN:PDF>
- [4] European Parliament and the Council [2006], *Directive 2006/38/EC amending Directive 1999/62/EC on the charging of heavy goods vehicle for the use of certain infrastructures.*
- [5] TRT[2008], *Pricing System for Road Freight Transport in EU Member States and Switzerland*, Policy Department B: Structural and Cohesion Policies, European Parliament, July 2008.
- [6] Maibach, M., Schreyer, C., van Essen, H.P., Boon, B.H., Smokers R., Scroten, A., Doll, C., Pawlowska, B, and Bak, M. [2008], *Handbook on estimation of external costs in the transport sector-Internalization of Measures and Policies for All external Cost of Transportation (IMPACT) Version 1.1*, CE Delft
- [7] European Commission [2008], *Proposal for a Directive of the European Parliament and of the Council amending Directive 1999/62/EC on the charging of heavy goods vehicles for the Use of certain infrastructures*, COM(2008) 436 final /2, Brussels, 8.8.2008.
- [8] Council of the European Union[2009], *8176/09 (Presse 73), 2935th Council meeting, Transport, Telecommunications and Energy, Brussels, 30 and 31 March 2009*
- [9] Council of the European Union[2010], *Interinstitutional File: 2008/0147(COD), Proposal for a Directive of the European Parliament and of the Council amending Directive 1999/62/EC on the charging of heavy goods vehicles for the Use of certain infrastructures (LA)-Political agreement, Brussels, 6 October 2010*
- [10] European Commission [2010], "Review of the Directive on charging Heavy Goods Vehicles – "Eurovignette Directive" – Questions and Answers", MEMO/10/489, Brussels, 13 October 2010.
- [11] Council of the European Union[2010], "Eurovignette directive on road use charges for heavy goods vehicles", *14826/10 Press release-provisional version, 3037th Council meeting, Transport, Telecommunications and Energy, Luxembourg, 15 October 2010.*
- [12] Direction générale des Infrastructures, des Transports et de la Mer, Ministère de l'Écologie, de l'Énergie, du Développement durable et de la Mer [2010], *L'éco-redevance poids lourds.*
- [13] Direction générale des Infrastructures, des Transports et de la Mer, Ministère de l'Écologie, de l'Énergie, du Développement durable et de l'Aménagement du territoire [2009], *Notice de présentation du projet, Contrat de partenariat relatif à l'éco-tax poids lourds nationale et à la taxe expérimentale alsacienne.*

16